【基本情報】

教　　科	探究	学　年	１年	教科書	なし
科　　目	探究基礎	単位数 (年間予定コマ数)	1 (28)	副教材	なし
科目概要	２年次で履修する『課題探究』または『課題研究』に向けて、課題を発見する過程を体験する。また、課題発見プログラムを通じて「探究の手法」や「プレゼンテーション」の基礎についてグループ活動を通して学習する。最終的には、２年次に取り組む『課題探究』または『課題研究』のテーマ決めを行う。				
到達目標	・グループで協力して取り組み、議論し考察することができる。 ・個人やグループでプレゼンテーションをすることができる。 ・グループで協力して「研究手法」「検証方法」を取り入れた「探究計画」を作成できる。 ・グループで協力して研究テーマを設定できる。				
授業の進め方	・様々な課題に対してグループで積極的に資料を調べたり議論をして問題を解決します。 ・グループ内だけではなくグループ間でも意見交換を行います。 ・プレゼンテーションや活動内容について客観的な視点で振りかえるために、自己評価および生徒同士の相互評価を行います。				
留意事項	・グループ内での活動を重視し、お互いに協力して活動する。 ・グループにかかわらず、積極的に意見を交わしたり議論をする。				
家庭学習	・授業の内容や研究テーマを決めるに当たって、必要な情報や資料を積極的に集めておくことを推奨する。				
備　　考					

【評価の方法】

観　　点	ポイント	割　合	評価項目
Ａ．探究する力	物事の中から問題を見いだし、解決方法を探して計画を立てようとしている。	２５％	授業ごとに提出する「振り返りシート」およびレポートなどを資料として、各項目について到達度を評価する。
Ｂ．対話する力	情報をもとに自分の考えを形成し、文章や発話によって表現しようとしている。	２５％	
Ｃ．協働して創り出す力	思いや考えをもとに構成し、個人や集団としての考えを形成しようとしている。	２５％	
Ｄ．自律して活動する心	互いの考えを適切に伝え合い、多様な考えを理解しようとしている。	２５％	

【年間計画】

単　元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
1　ガイダンス	2	「探究基礎」のねらいと学術分野の研究	○	○			「探究基礎」を学ぶ意味を理解するとともに、学術分野を知ることで、自分が設定した課題がどの学術分野にあてはまるかを理解することができる
2　探究の手法	2	課題発見プログラム １枚の写真を撮ろう	○	○	○		地域社会のなかで疑問に感じたことを写真に撮り、課題や解決方法を見いだすことができる
	2	問題意識を共有しよう	○	○	○		１枚の写真から出た課題や解決方法をグループ内で共有し様々な問題の解決方法を考え合うことができる
	2	お気に入り論文を探そう	○	○	○		１枚の写真から見いだした問題を解決するために、先行研究の論文をキーワードをもとに検索することができる
	2	お気に入り論文を紹介しよう		○	○		前回選んだ論文について、選んだ理由・内容をグループワークを通して発表し、発表者以外は内容について質問することができる
	3	大学模擬講義	○			○	自分が課題として持っている分野についての講義を受講することで、研究についての手法を学ぶことができる
	2	問題解決の方法をまとめよう	○	○	○		１枚の写真からの取り組みをまとめ発表し、相互評価する
3　テーマ設定とグループ活動	2	仮ゼミ編成	○	○			学年全員で仮ゼミを編成し、北海道教育大学旭川校の学生によるアドバイスを受けながら活動していくことができる
	2	課題探究中間報告会	○	○	○	○	２年生のポスター発表を見学し、プレゼンテーションの手法を学ぶとともに、今後の研究の参考にすることができる
	2	デザインの作成③・教育大事前学習	○	○	○		自分独自の研究デザイン（研究課題は自由）をまとめる 訪問するゼミの研究について調べ、質問事項を考える
	2	教育大訪問	○	○			自分が課題として持っている分野についての講義を受講することで、課題に対するアドバイスや研究手法を学ぶことができる
	2	デザイン作成④	○	○			自分独自の研究デザイン（研究課題は自由）をまとめることができる
	2	模造紙作成	○	○			自分が提案する研究デザインを模造紙にまとめ、発表のための準備をすることができる
	3	模造紙発表会	○	○		○	自分以外の人がつくった研究デザインを読んで、研究してみたいデザインを見つけることができる
	2	研究デザイン・ゼミ希望調査	○	○			前回の研究したいと思ったデザインをもとに、ゼミの希望をとる